

土とともに、笑顔育てる一年 ～田んぼの会～

広町の米づくりへようこそ！

＜田んぼの会からのメッセージ＞

「田んぼの会」は、一年をかけてみんなでお米を育てるボランティアの集まりです。
12月から2月は田おこし。冷たい風のなか土を耕し、春を待ちます。
4月には田んぼに水が入り代掻きが始まり、カエルの卵やオタマジャクシ、ヤゴにも出会えます。
6月の田植え祭では、子どもから大人まで200人を超える仲間が泥だらけになって苗を植えます。
夏は汗だくの草とり、9月は藁を叩いて稲刈りの準備をし、地域の小学校や幼稚園のみんなも稲刈りにやってきます。
10月の稲刈り祭でお米を収穫し、脱穀してようやくお米になります。
作業の合間、木陰でお茶を飲みながらおしゃべりする時間もまた楽しみのひとつ。
小さな子どもからお年寄りまで、世代を超えた仲間が集まるのも広町の魅力です。



大地の豊かさに触れる瞬間
小さな生き物たちとの触れ合いも、
大切なひと時です



一人一人の手作業が、確かな食作りにつながります



この一粒一粒の価値は、計り知れません



僕たちはいつも汗をかきながら笑い合っています、ぜひ広町に来て、一緒に土に触れてみませんか。



成長の喜びは、この作業から始まります

＜広町緑地管理事務所からのお知らせ＞

＜ボランティア大募集中！＞

広町緑地の豊かな里山と一緒に育ててみませんか。
自然が好きな方、体を動かしたい方、地域貢献したい方大歓迎！
経験は問いません、見学・体験を随時受け付け中です
(申し込みはQRコードから)。
お問い合わせは、管理事務所まで。



メール：info@kamakurahiromachi.org

電話：0467-32-5112

鎌倉広町の森市民の会ホームページ：

<https://kamakurahiromachi.org>

facebook：鎌倉広町緑地 @kamakurahiromachi

X (旧 Twitter)：鎌倉広町緑地 @hiromachi22

Instagram：鎌倉広町緑地 @kamakura_hiromachi



9月 9/27 (日)「初秋の野草クッキング」(要予約)

10月 10/3 (土)「稲刈り祭り」
10/4 (日)「どんぐり工作」(要予約)
10/11 (日)「秋のチョウ観察会」(要予約)
10/18 (日)「秋の野草クッキング」(要予約)

11月 11/1 (日)「サトイモ・サツマイモ掘り」(要予約)
11/21 (土)「収穫祭」(11/22 予備日)
日付未定 「コンニャク作り教室」(要予約)

12月 12/13 (日)「クリスマスリース作り」(要予約)
12/13 (日)「広町さんぽ(紅葉散策)」(要予約)

今回お知らせしているイベントは日付が変更されるかもしれませんが、
詳細は広町緑地ホームページのイベント予定でご確認ください。

フクロウの棲む、ゆたかな森を次世代へ
広町の森市民の会の取り組みを伝える☆ 第72号

広町からの風

HIROMACHI karano KAZE



カーブフォト
新たな実りの始まりの時

広町の米作りへようこそ！
～親子で未来の森づくり～
第15回 広町植樹祭

広町田植え祭
保全管理計画策定協議会により
水辺の生きもの観察会

田植え祭で田植えを始める子供たちと、それを見守る
田んぼの会の人たち。新しい実りの始まりの時です！

人と自然が出会う未来

広町田植え祭

6月6日、鎌倉広町緑地の田んぼで「田植え祭」を開催しました。
当日は多くのご家族をはじめ、高校生ボランティア、湘南鎌倉医療大学の体験学習生、KDDI 株式会社の皆様
にもご参加・ご協力いただき、約200名が力を合わせて、今年の田植えを無事に終えることができました。

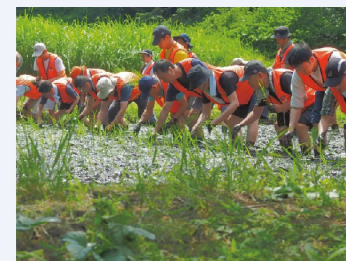
初めて田んぼに入る子どもたちは、泥に歓声を上げながら一步一步苗を植え、大人も裸足で土の感触を
楽しみながら作業に取り組みました。
参加者からは、「普段できない貴重な体験だった」「田植えの大変さとお米のありがたさを実感した」
「大学生や高校生が優しく接してくれ、子どもも安心して楽しめた」など多くの喜びの声が寄せられ、
世代を超えた交流の輪が広がり、田んぼは笑顔と活気に包まれました。



大切な注意に聞き入っています



足元に気を付けて！



始まったらもう一心不乱です



一つ一つ丁寧に植えます



参加者から寄せられた「稲刈りも参加したい」「収穫まで見届けたい」という声は、この活動が一日限りの
体験ではなく、自然と継続的に関わるきっかけになっていることを感じさせてくれました。
これからも「田んぼの会」は、多くの仲間とともに里山の恵みを未来へつなぎ、自然と共に生きる
地域づくりを進めていきます、ぜひ豊かな風景を育む活動にご参加ください。



～親子で未来の森づくり～

5月16日、爽やかな五月晴れの下「第15回広町植樹祭」を開催、親子22人と大学生10人が参加しました。参加者はモミジ班とサクラ班に分かれ、森の奥の大きなモミジの木の下に、ひっそりと生まれた苗木をまるで宝探しのように掘り出したり、森の会が挿し木から育てたサクラの苗木を会場まで運びました。

会場である浄化センター入口上の広場では、昨年自分達で植えた木やお友達の名前入りカードを見つけて喜ぶ子どもたちの姿も見られました。

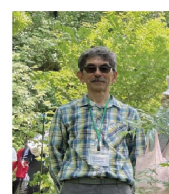
穴を掘り、肥料を混ぜ、苗木を植えて水をまく——植樹は一日の作業ですが、その裏では森の会の皆さんが一年を通じて草刈りや土づくり、植樹祭の後には若い苗木の成長が他の草木に妨げられないよう、手で除草をしたり、水やりなどのお世話をしています。

しかし、広町の森では自然の木の苗は人の力を借りずに成長します。植樹祭を通じて自然の力強さも感じていただけたら嬉しいです。

<森の会 代表 望月高明>

森の会は春の植樹と過去の植樹地の下刈りを通じて里山雑木林の再生を図っています。

森にどっぷり浸かってみたい方にお勧めです！一緒に広町の森を育ててみませんか？



カードに僕の名前も書いたよ！

これが僕のもみじ苗です！

穴を掘るのも大変

おじいちゃんとお孫さんの共同作業

完成！



みんなでパチリ！

<森の会の皆さんより>



みんなの植えた木が日々大きくなっていくよ。ぜひ成長を見に来てください！

<湘南鎌倉医療大学の体験学習生も参加>

授業として広町でのボランティア活動体験を行っており、今年度も様々なイベントにてご活躍いただく予定です！

学生さんより様々な感想が寄せられました。

- ・色々な世代の方と交流できて貴重な体験でした！
- ・子どもたちとの時間がほんとに楽しかった！
- ・初めての山道散策が新鮮で楽しかった！
- ・自然に癒されました！
- ・虫が苦手でした！



～保全管理計画策定協議会だより～

広町緑地保全管理計画について

環境保全委員会は、広町緑地にいくつかある会議のひとつで、主に広町緑地の保全と管理に関わる事柄を議論します。

これには直営の作業やボランティアによる作業も含まれます。25年度より広町緑地保全管理計画を市民の会主導で作ろうということで、専門家の方を交えて内部に保全管理計画策定協議会を作り活動しています。

26年度からは植生、水質、魚類、昆虫、鳥類他の調査を開始しました。この調査には多くの会員が協力をしています。また経費は市民の会の予算から支出しています。

ホームページに「保全管理計画策定協議会だより」を不定期に作成して公開していますのでぜひご覧ください。



頼もしいメンバーたちが勢ぞろい！



緑地の植生調査です



多少の危険は顧みません

広町の豊かな自然を学ぶ一日

水辺の生きものの観察会

7月19日、水辺の生きものの観察会が実施されました。広町の水辺には、多様な生きものが暮らし、その姿は豊かな自然環境を映す大切な指標でもあります。

観察会では、子どもたちが保護者とともに水路や小川に入り、生きものを探して種類や数を記録、楽しみながら、実際の生物調査の一端を体験しました。

魚類に詳しい勝呂講師の解説では、生きもの同士のつながりや水辺の環境について学び、身近な自然への理解を深める時間になりました。

観察した生きものは調査後にすべて元の場所へ戻し、「見つける」「知る」「守る」という自然との向き合い方を参加者みんなで共有できたようです。

一人ひとりの発見が、広町の自然を未来へつなぐ第一歩となる観察会でした。



なにがいのかな？もうみんな夢中になって、宝物を探してます



大人も子どもも一生懸命に勝呂先生の説明を聞いてました